

# ●1分で見える世界景気／2015年6月後半から見た7～8月の動向

2015.6.24(株)TSOON

※米国利上げが世界景気のかく乱要因。日本は国内経済の自律性を高められるか？

## 欧州

ギリシャとの調整は楽観・悲観の  
繰り返しが続く  
ウクライナ問題

●欧州中銀  
量的緩和

・5月の新車販売  
⇒前年同月比1.3%増加

・デフレ懸念が後退

## 中国

- 株バブルか？
- 5月乗用車生産  
前年同月比15%減
- 設備投資絞り気味
- 5月小売総額  
前年同月比10.1%増と横ばい

追加金融緩和も  
検討か？

## 米国

●FRBの利上げは年内

- ・5月雇用 +28万人 好調
- ・5月完全失業率5.5%
- ・5月新車販売1.6%増
- ・5月住宅着工戸数 年換算で103.6万戸と高水準
- ・5月新築一戸建販売 前月比2.2%増(54.6万戸)と7年ぶりの高水準

・利上げ時期をめぐり  
ドル、国債、株のせめぎあいが続く

## 新興国 & 資源輸出国等

●トルコ、ブラジル、南アフリカ  
⇒景気低迷、高いインフレ率、利上げ、  
経常収支赤字で外国通貨への依存度が高い

●東南アジア各国で新車販売低迷  
・インドネシア、マレーシア、タイ

## 日本

●1-3月GDP実質3.9%増(年率換算、改定値)  
・企業の設備投資が前期比2.7%増

●緩和で  
時間稼ぎ

●4月失業率3.3%(1ポイント減)

- 4月小売業販売額4.9%増(前年同月比)
- 4月住宅着工件数91.3万戸(年率換算)

・夏～秋にかけて景気回復がいよいよ視野に

緩和マネー

新興国マネー

緩和マネー